

88

## 規制改革実施計画、まち・ひと・しごと創生基本方針 2020

問 88 2020年7月17日に閣議決定された規制改革実施計画及びまち・ひと・しごと創生基本方針2020に関する次の記述のうち、最も妥当なものはどれか。

↓チェック欄

- 1 規制改革実施計画では、社会全体のデジタル化を進めるため、これまで押印や書面の提出を求めてきたすべての行政手続きについて、年内に見直しを検討し、関係する法令や告示、通達等の改正やオンライン化を行い、その対応状況を今年度末までに公表するとした。
- 2 規制改革実施計画では、金融機関の口座開廃や融資の申し込みで必要とされる書面や押印をなくすとともに、不動産取引の際に義務づけられている書面のやり取りを撤廃できるよう法改正を行うとした。
- 3 規制改革実施計画では、デジタル技術の進展を踏まえた規制の総点検を掲げ、老朽化した橋やトンネルといったインフラの点検用にナノマシンを活用できるよう、国交省が定めたマニュアルに基づいて使用を申請した場合は審査を省略する等の手続の簡素化・円滑化を図るとした。
- 4 まち・ひと・しごと創生基本方針2020では、魅力的な地方大学の実現、地域の雇用の創出・拡充により、若者の地方への定着を推進するため、地域の特色・ニーズ等を踏まえ、AI人材等の育成等に必要な地方国立大学の定員増も含めた大胆な改革等に取り組むとした。
- 5 まち・ひと・しごと創生基本方針2020では、経済団体や東京の大企業等との連携の下、リモートワークやサテライトオフィスの在り方を検討し、しごとの地方移転と社員等のワーケーションを推進するとした。

## 解答・解説

- 1 妥当である。
- 2 誤り。「撤廃」ではなく「電子化」である。
- 3 誤り。「ナノマシン」ではなく「ドローン」である。なお、ナノマシンとは、0.1nm～100nmサイズの機械装置を意味する概念のこと。
- 4 誤り。「AI人材」ではなく「STEAM人材」である。なお、STEAM人材とは、Science（科学）、Technology（テクノロジー）、Engineering（工学）、Art（アート）、Mathematics（数学）の5つの領域を表す言葉の頭文字をとった造語で、この5つの領域を結びつけて物事を捉えることができる人材を指す。
- 5 誤り。「ワーケーション」ではなく「地方移住」である。ワーケーションとは、「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地で休暇を取りながらリモートワークをする働き方のこと。

## Topics

### ●規制改革実施計画とまち・ひと・しごと創生基本方針 2020

**規制改革実施計画**は、規制改革推進会議がとりまとめた「規制改革推進に関する答申」（令和2年7月2日）において示された実施事項について、政府として計画的かつ着実に実行するために、担当府省や実施時期を定めた計画として整理したもの。

**まち・ひと・しごと創生基本方針 2020**は、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元年12月20日閣議決定）に掲げられた基本目標及びその達成に向けて作成された政策パッケージ・個別施策について、今後の対応方向をとりまとめた方針のこと。